

令和元年度 園の自己評価表

4・・・とても良い
3・・・良い
2・・・ふつう
1・・・悪い

◎保育の計画の編成と実施に関する評価

第一ルンビニ園

項目	内 容	令和元年度 評価
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定している。	3. 24
	(2) 目標は、PDCAサイクルを機能させ、課題を踏まえた物になっている。	3. 08
	(3) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	3. 28
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成している。	3. 48
	(2) 保育所保育指針に基づき、一人一人に寄り添った援助を適切に行っている。	3. 28
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	3. 0
日時程	(1) 一日の流れ(デイリープログラム等)は、子どもの育ちに合っているか。	3. 2
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切である。	3. 2
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	3. 08
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしている。	3. 24
経営・組織	分掌・体制 (1) 職務内容が明確で、協働できる体制になっている。	3. 08
	(2) 係や仕事の分担・割り当ては適切である。	3. 16
経営・組織	運営 (1) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力して園の運営に携わっている。	3. 2
	(2) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切である。	3. 04
経営・組織	クラス経営 (1) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定している。	3. 28
	(2) 個々の実態を把握するとともに、共通理解を図り複数の目で教育・保育をしている。	3. 32
	(3) 保護者との信頼関係を構築しながら、きめ細やかな教育・保育を行っている。	3. 24
	健康・安全・防災教育 (1) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している。	3. 4
	(2) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のための、家庭への啓発を行っている。	3. 0
	(3) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っている。	3. 0

項目	内 容	令和元年度 評価
研究・研修	所内研修 (1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものである。	3. 28
	(2) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映されている	2. 96
研究・研修	園外研修 (1) 外部の各種研究会、研修会、講習会への参加体勢の(充実を図っている。	3. 28
	(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元している。	3. 08
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報訂正に取り扱っている。	3. 36
	(2) 知り得た情報等の守秘義務を果たしている。	3. 56
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている。	3. 32
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管している。	3. 04
開かれた園づくり	施設間交流・連携 (1) 他施設との交流計画等は、保育目標や乳幼児の実態に添ったものになっている。	3. 08
	(2) 他施設の幼児児童生徒と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っている。	3. 0
	(3) 世代間の交流を通して、様々な年代と触れ合う機会を大切にする。	3. 0
開かれた園づくり	地域社会との連携 (1) 保護者を含む地域の人材を活用し、連携をしている。	3. 04
	(2) 地域の行事に積極的に参加し、郷土の文化や生活に触れている。	2. 96
開かれた園づくり	子育て支援の推進 (1) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶ事ができるような場の設定を行っている。	2. 92
	(2) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって役立つような情報を提供している。	3. 24
	情報発信 (1) 園だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信している。	3. 44
要望	(1) 地域や保護者の意見を施設の運営に反映している。	3. 2